



■「生野高生になる」④ 自己管理

人は失敗しながら、日々成長していくものなのですが、「成長しなきゃな」と奮って行動を変えない限り、そこに立ち止まったままになります。それにも関わらず周りは進んでいく。こんな経験はありませんか？

忘れ物と遅刻について。前者の「忘れ物」は、時々してしまう可能性はありますが、後者の「遅刻」に関しては、全く関係のない人も多いはず。私の周りにいる「遅刻を全くしない人」たちに、なぜ遅刻をしないのか聞いてみました。

- ・「そこに待っている人がいるから」
- ・「周りを待たせることになるから」
- ・「周りに迷惑をかけるから」
- ・「痛い目に遭った人を見たから」
- ・「遅刻される側は嫌な思いをするから」
- ・「ギリギリで焦るのが嫌だから」

時間を守ることは自分をコントロールする力の一つです。時間通りに行動できる人が、計画的に物事を進める能力を必ずしも備えているとは限りませんが、逆は言わずもがなです。遅刻数は学年全体で 23 件（4 月～5 月 13 日現在）です。一つ一つ理由はあるかもしれませんが、防げる理由ではありませんでしたか。

忘れ物に関しては、同じ生徒が繰り返し忘れ物をするループから脱出できていないように思われます。モノ・情報の整理をどうしていますか？ 手の甲に書くくらいの情報では収まらないはず。手帳を使うのも一つの手です。

何を「当たり前」とするか。変えられるうちに習慣を変えていきましょう。**連休明けから遅刻は格段に減りました。**このように、皆さんの成長する姿を応援していきたいです。

■ スタディーサポートを振り返って

明日、5/15(木) は、スタディーサポート（以下、スタサポ）の結果返却と進路の講演です。

朝の SHR で、結果帳票を配付します。

手帳・筆記用具・結果帳票を持参し、5 限最初のチャイムで始められるよう行動してください。（いつも混みあう階段。混みあうことを知っているのであれば、どんな行動をとりますか？）

結果は数値だけでなく、「傾向」としてみましょう。

模試の結果で一喜一憂するのはその瞬間だけにとどめて、模試は分析の材料です。得意分野と課題を明確に。まずは得意な教科を見てみましょう。自分の得意な教科はどれでしたか？ところで、得意教科の中にも、正答率が低い単元がありませんか？逆に不得意な教科であったとしても、全ての単元が解けていない訳ではないと思います。得意・苦手教科の中で、“この部分は比較的解けている”という単元と、そうではない単元があるはず。では、それらの違いは何でしょうか？あるいは、今回解けている単元も、実は何となく解けているだけで、類題に挑戦してみれば解けない可能性がありはしませんか？こうした部分を考えるところに、弱点克服の手がかりがありそうです。“ここは正答率が高い／ここは低い…その差は何？”をしっかりと考察しましょう。そして、考えること＝言語化することです。“思っている”だけでは、結局はその場限りになってしまいます。キーワードや箇条書きで構いません。具体的な言葉にしてスケジュール帳に書き留め、見返しましょう。

今回の出題範囲は中学校の内容ですから、1 年スタサポで解けなかった部分は、中学の

学習内容で穴があいてしまっている部分ということです。高校の学習内容は中学の内容に積み上がっていきます。いま学んでいる内容が無駄にしないためには、実はここまでの基礎固めが大切なのです。ちなみに、穴があいてしまっている部分は人によって違います。それを具体的に示しているのが巻末の「弱点克服ドリル」です。学習内容の穴を埋めて基礎固めするのが今回のドリルの目的ですから、それ相応の取り組み方でのぞんでください。

そして、今からでも問題を解きなおしましよう！先の土曜学習で確認した、振りかえり・解きなおしをしていなかった2割の人たちは、「自分事」と認識できて、行動に移せているでしょうか。

改めて模試の問題を解きなおしたら、全問正解できますか？ 試験には時間制限があります。時間が足りなくて解けなかったのか、時間が無制限であっても解けなかったのか——それによって、対策は異なってきますよね？ 前者ならば、解くスピードの問題。後者ならば、そもそも解くための学力が不足している問題。いま一度、時間無制限で解きなおしてみ、どちらなのかを見極めましょう。解くスピードをアップするためにはどうすればいいのか、解くための学力をつけるためにはどうすればいいのか——それを、各授業担当の先生に訊いてみてください。

進歩を感じられる成功体験は、モチベーションにつながります。「自分で学ぶ力」を育てていきましょう。

以上は一人一人が今から始める具体的な話でしたが、学年全体の話もしておきます。

昨年度同じ1年生の結果と比較すると、全体的に学力は下がり、学習習慣がよくない生徒が多くなっています。

ですが、ここからがスタート。どのような環境にしていけるかは、そこにいる皆さんの行動の積み重ねです。自らが望む進路や高校生活と照らし合わせ、どのような環境で学びたい

かを考えてみてください。変えられる力をもっているのは、この場にいる皆さんです。

学力◎学習習慣▲ 178名(49.4%) 前年221名(61.4%)	学力◎学習習慣◎ 33名(9.2%) 前年31名(8.6%)
学力▲学習習慣▲ 125名(34.7%) 前年93名(25.8%)	学力▲学習習慣◎ 24名(6.7%) 前年15名(4.2%)

↑80期生の学力・学習習慣バランス

■ 連絡 5/17(土) 土曜学習日④

【持参物】手帳、各自自学自習に必要なもの

【集合時間】9時、体育館

【内容】

① 全体講話「初めての定期考査に向けて」

② 自教室にて自学自習 何に取り組むかわからかじめ計画しておく。希望者は至誠ホールにて講習(9時半-数学、10時半-英語)

(教室の施錠はありませんので、貴重品を教室に置いたままにしないようにしてください)

なお、土日は学校へ電話がつながりません。土曜学習日については欠席連絡等の必要ありません。

■ 当面の予定 手帳にメモしよう！

17日(土) 土曜学習日④

19日(月)～23日(金) 登校服装指導週間

22日(木) 防災避難訓練

23日(金) 前期中間考査2週間前

27日(火) 体育祭 ※天候による、掲示確認

31日(土) 土曜学習日⑤

6月

6日(金)～12日(木) 前期中間考査

9日(月) 進路保護者説明会